



にかほ 市議会だより



(平沢海水浴場で寒稽古)

12月定例会

一般会計補正予算	2
一般質問	3
会派代表質問	8
議案質疑	10
議会活動	12
委員会報告	13

12月定例会

一般会計補正予算

平成21年度12月定例会に提案された一般会計補正予算（第7号）は総額で5億5,421万5千円となりました。補正予算の主なものは下表の通りです。

（人事院勧告による職員、特別職の給料・報酬等の減額は総額で2,273万7千円となり、本定例会で減額補正されました）

款	項	目	内 訳	金 額 (千円)
2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費	代替路線車両購入費補助金	21,525
		9. 企画費	地域情報通信基盤整備工事費 (光ファイバー)	280,000
3. 民生費	4. 保健年金費	2. 保健医療費	福祉医療システム改修委託料	5,000
4. 衛生費	2. 清掃費	3. 最終処分管理費	不良土処理業務委託料	5,100
6. 農林水産業費	1. 農業費	3. 農業振興費	農山漁村活性化プロジェクト事業	64,168
			今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業	13,889
	2. 林業費	2. 林業振興費	県営林道開設事業費負担金	25,000
	3. 水産業費	2. 水産振興費	地域水産物供給基盤整備事業負担金	5,000
7. 商工費	2. 観光費	2. 観光施設費	温泉保養センターはまなす施設整備基金積立金	1,800
			象潟観光施設整備基金積立金	12,000
9. 消防費	1. 消防費	5. 災害対策費	自治会館耐震診断委託料	1,200
			地震防災マップ作成委託料	5,000
			J-ALERT(瞬時警報システム)整備工事	2,600
10. 教育費	5. 保健体育費	5. 金浦給食センター費	ボイラー更新工事	10,000
12. 公債費	1. 公債費	1. 元 金	繰り上げ償還	114,920



佐々木正勝 議員

行政運営について

質問 次世代育成支援行動計画の見通しの真意を伺います。

市長 本市における保育園児や児童生徒の総数は平成18年度に5,038人であったものが3年後の平成21年では4,692人となり346人の減で少子化の傾向が急速に進んでいる状況です。夫婦間で子供を産み育てるための課題として70%の方が経済的負担を挙げており、市として医療費の無料化などできる範囲内で経済的負担を軽減したいと考えています。

新型インフルエンザについて

質問 市民の健康対策が最重要であります。市の業務を行っている市職員の必要な措置が明記されているか伺います。

市長 新型インフルエンザに発症した職員は2名で、同居する家族が発症した職員は37名おります。感染拡大防止を図るため、本人が感染した場合は7日間程度の病気休暇、同居家族の場合は3日間の職務免除として出勤を自粛させるなど、文書で全職員に周知しております。

観音湯のアオコ対策について

質問 桜の名勝観音湯に発生しているアオコの現在までの調査進捗状況と対策を伺います。

市長 20年度に観音湯と竹島湯の調査を行ない、ことし2月に県立大学との連携協力協定を締結し、アオコ対策に詳しい専門の先生と2回程協議を行ないました。水中のリンが増え富栄養化となり、それを栄養源としてアオコが発生するそうです。現在観音湯へは赤石川から取り入れておりますが、その水量を増やせないか検討したいと考えており、専門のコンサルを入れて来年の3月までには具体的な対策を示したいと考えています。

高齢者福祉対策について

質問 買い物が大変な地域の高齢者世帯への交通費の助成で対象地域を選択する時点で課題はないか伺います。

市長 公共交通機関が運行していない地域や遠隔地等の状況を把握しながら、市民に不公平感を与えない様に努めていきます。

12月定例会一般質問

市長選のマニフェストについて



佐々木正明 議員

質問 今回の市長選では、お二方のマニフェストが大きな課題となりました。市長として説明責任があると思えますので、産業振興、分庁方式、企業管理者、生活バス路線の再構築等の考え方について伺います。

市長 ◎企業には資金面の支援と企業アドバイザーの配置など側面からの支援、新規雇用事業者には20万円の交付などを考えております。◎22年度中に分庁方式を検討する協議会を立ち上げたいと思っております。◎企業管理者制度については、条例に企業者を置くこと定められており、ガス事業を民間に移した方がさらに市民サービスに貢献できると考えてますし、給料は一般会計からでなく、公営企業会計の中で賄っています。◎羽後交通の25路線のうち19路線

が赤字路線です。仁賀保線、大竹線、長岡線、鳥海線を4月から廃止する意向が示され、大竹線に10人乗りのワゴン車、他の3路線には29人乗りの小型バスを配車し、御指摘の運行経路や運行時間等にも十分配慮したいと思えます。

総合発展計画について

質問 基本計画期間内にやり残したことが、見直しを考えていることがあるのか伺います。

市長 J R象潟駅東西連絡網の整備などは、この様な社会情勢では前期の計画の中ではむずかしいと考えております。

特養施設について

質問 特別養護老人ホームの計画と今後の行政とのかかわりについて伺います。

市長 事業予定希望者は明星福祉会のみでございましたが、この募集で、施設整備に対しては「一切市の負担はありません」。それを前提に申し込みを受けたところで、ふるさと資金の話も、やる法人が決ってから支援すれば、ほかの事業者に不信感を与えることになりません。



加藤 照美 議員

白書の作成について

質問 高度成長期に市民等の要望などで、多くの公共施設が整備されました。しかし建設後相当の年数が経過しています。そこで公共施設の現状を積極的に公開し今後の施設のあり方の議論を進めるため、「公共施設マネジメント白書」を作成する考えはありませんか。

市長 白書の必要性は認めるところですが、改修や備品等の更新を計画的に行う事は財源確保等の問題があり大変難しいのではと考えます。しかし市民や第三者的な視点で協議する場を22年度中に立ち上げ公共施設のあり方を検討したいと思えます。
質問 少子化の現状及び課題等について総合的な政策を推進する考えがあるか伺います。
市長 まだそれまでいきませんが、県が少子化対策本部を設置しておりますので、その内容を見ながら、市としてどのように対応していくか関係部局でつめている段階でございます。

農業政策について

質問 ◎来年度の農業関係の予算はどの様になるのか。又米の戸別所得補償モデル事業が実施されるが、集落営農組合に対する影響はどうか。市として農業政策に変更があるのか。◎淡雪こまちの種子を注文したが直播栽培でなければ出せないとの事、県の方へ働きかけはできないか。◎大豆の助成水準について、市の単独として来年度も考えていますか。

市長 ◎水田農業の環境は大きく変化してますが、新年度の予算において、これまでの方針に基づき継続し県や農協などと連携を図り、国の動向やにかほ市農業の現状に即した予算編成を考えております。所得補償ができることが集落営農の取り組みを阻害すると指摘されています。◎品種の特性から移植栽培は適さない、直播栽培によるブランド化を図っています。◎大豆生産は重要な作物であり、できる限り支援策は講じたい。

12月定例会一般質問

合併後のまちづくり



竹内 賢 議員

質問 4年過ぎたまちづくりについて市民が意見を申し合ふため、大談論会を開こうではありませんか。

市長 日頃から市民の英知を結集して行政がともに手を携えながらまちづくりを進めてまいりたいと考えているところで、市民の皆様からは、これまで以上に市政への参加、参画をお願いしたいと思えます。市では、これまで市政座談会、市政説明会、行政懇談会を開催し市民の意見を伺っているところです。加えて個人やグループで直接面談の希望にこたえて市長面会日を設定しているところでもあります。御提案のことについては今すぐ取り組むことは考えておりません。

予算編成について

質問 22年度予算をつくるにあたって眠っている財産を財源として生かすための方針を立てるべきと考えますが、いかがですか。

市長 税収外収入の財源を得る手段として大事なことだと考えております。基本的には、将来的に利用計画がなく、市として保有する必要性のない財産などについては、積極的に民間への売却処分に努めていきます。又売却困難な財産や将来的な利用計画がある場合でも当分の間、利用されることがない財産については公益的、公共的な利用目的には限定せず、幅広く貸し付けを認め、民間等への積極的な貸し付け等、こうしたことで財産の有効利用を図ってまいりたいと思っております。





均 員
議員
神原

市民検診と

健康について

質問 病気の早期発見、治療が重要と考えますが、特にガン検診の現状と問題点について、又医療費との関係で保険料の状況について伺います。

市長 個別、集団の検診体制をとっており、市民課、健康推進課等連携協力して一人で多く方から検診を受けていただく様に努力しています。

健康福祉部長 ガン検診は全体的に県内の平均受診率より高くなっていますが、40代、50代の人数が増えず、新規の受診者が増えない傾向にあります。保険料については、このまま推移すると現行の税率で運用できる見込みです。

共同受注システムの構築について

質問 共同受注システムの今日までの推移と、この事業の最大の狙いは何かお伺いします。

市長 世界的同時不況の中で、製造業中心に大変大きな影響を与えている中、市として国の交付金に基づき県が基金を造成したお金を活用し、受託先を商工会にお願いしました。11月に12名

で活動を開始し、13日に開所式を行いスタートしました。今後支援体制を整備し、営業力の強化をはかり受託量の拡大と経営基盤の強化に取り組んでいただければと期待しています。

新型インフルエンザ

対策について

質問 新教育長の抱負と具体的な政策について、又新型インフルエンザの流行によって各校の授業時間の確保と受験生に対する配慮についての考え方を伺います。

教育長 良い教育条件が整っている地域において、まず子供達の豊かな感性を育てたい。又学力のさらなる向上を図る。そのためには粘り強く取り組む力を育てたいと考えています。次に授業の確保は①冬休みの減②週当りの授業時間の増③週当りの増と冬休みの減。以上の様な状況です。受験については、新型インフル対応の別室で受験するがマスクの着用、机の間隔の配慮、アルコール消毒を行ない一般受験生と接触を避けます。

12月定例会一般質問

市民生活を支える施策とは



元 議員
佐藤

質問 市民生活を支える施策とは、どのようなことを指しているのか、特に6分野のハード面の具体的な説明をお伺いします。

市長 6分野とは子育て、教育産業、雇用、温暖化対策、高齢者福祉、スポーツ、市民生活であり市民生活の分野では最も多い8項目を挙げております。ハード面ということですが、日沿道については整備区間の予算要求では、2割ほど落ち込んでいますが、ある程度の子算要求はなされているようです。遊佐、象潟間については、早期に計画区間を整備区間に昇格するよう民主党幹事長室に行つて要望をしてきたところであります。幹線道路については、すずらん通りから消防署までの工事を進めておりますが、進捗状況を見ながら

消防署から象潟地区までの整備も行つてまいります。

事業仕分けについて

質問 新年度予算編成には、仕分けの必要性を検討されましたか。また、組織を立ち上げたのであればどのようなチームですか。

市長 本市の予算編成は財政課において、事業を展開すべく担当課からの事情聴取を行い、事業の是非、効果を厳しく査定して実施してきました。新年度の予算編成にあたっては国で行っているような事業仕分けは行っておりませんので、チームとしての組織の立ち上げはありません。21年度より行事の1つとして実施している行政評価ですが、見直しも含めて次年度に上げる作業であります。国で行なっている事業仕分けではありませんが、目的は行財政改革であり、そのための事業仕分けに類する作業として22年度を目標に、外部委員による行政評価システムの構築を考えております。この評価は、点検や検証が統一的な仕組みで実施し、事務事業として継続、縮小、廃止、見直しなどいわゆる事業仕分けに当たる作業を行いたいと考えています。



市川 雄次 議員

アセットマネジメント に基づく市有財産の管 理について

質問 昭和50年代までに急速に整備された施設が老朽化し、これから5年〜10年の間に一斉に修繕や廃止などの見直しや再配置の時期を迎えることになりま
す。補助金及び交付金が削減される一方、税収の大きな伸びが期待できない中で、自治体は今
まで以上に財務管理に工夫をしなければならぬとすれば、道路を含めた既存の公共施設を公有財産ととらえ、その延命化によるライフサイクルコストの削減を図るためのシステム構築が必要と考えます。現有資産の一元化及び中長期的なマネジメントすなわちアセットマネジメントを行う取り組みが必要であると考えますが、当局の見解をお伺いします。

市長 御指摘のように、これまで築き上げてきた各種の公共施設をどのように活用し、また管理運営していくかは、今後の大きな行政課題であると認識して
おります。これからの地方公共団体を取り巻く財政環境は一層厳しくなることが予想される中で、そのときどきの社会情勢に対応した施策を展開するためには、その財源を確保することが大切です。したがって、市民福祉の維持向上を図るためにも、これまで以上に効率的で効果的な行政運営を行っていかねばなりません。
現在利用している公共施設、これを将来どのようにするか
本場に大きな問題であると考えております。
私も県選出の民主党議員といろいろ情報を交換する中において、相当財源的な措置は減っていくのではないかとという心配を持っております。ですから、いかに限られた財源の中で、全体的な市民福祉の維持向上を図っていくか、その視点で議論してまいりたいと思っております。

12月定例会 一般質問

まちづくり交付金事業の見直しについて



本藤 敏夫 議員

質問 まちづくり交付金事業のうち、文化施設、市民交流センターの見直しについては、時期を得たもので一定評価するものであります。しかし合併協議会の協議事項の重要性から、経済の動向を見きわめてという状況で、復活する意志が十分あるようでありますから、そういう面で質問させていただきます。
市長 文化施設の建設については、環境が整ってきたという段階において、議会あるいは市民の皆様方にも相談をしながら、どういう機能を整備していくか、これからだと思っております。

質問 まちづくり交付金事業のうち、文化施設、市民交流センターの見直しについては、時期を得たもので一定評価するものであります。しかし合併協議会の協議事項の重要性から、経済の動向を見きわめてという状況で、復活する意志が十分あるようでありますから、そういう面で質問させていただきます。
市長 文化施設の建設については、環境が整ってきたという段階において、議会あるいは市民の皆様方にも相談をしながら、どういう機能を整備していくか、これからだと思っております。

質問 釜ヶ台小中学校の児童生徒の通学の手段については公共交通体系の中で考えるということですから、教育委員会でも当然かわることだと思えますが、ひとつ細かい点までお話をいただきたいと思えます。
市長 釜ヶ台地区から仁賀保駅までコミュニティバスを運行いたします。釜ヶ台地区の児童生徒の通学の利便性を最重要課題にとらえ、また、一般の方々も乗車できる混乗型のコミュニティバスとして運行していくものでございます。
教育と文化について
質問 社会科公民分野の教育のあり方について教えていただければありがたいと思えます。
教育長 教育資源には人的資源と物的資源があると考えますが、にかほ市にはすばらしい偉大な業績を残した多くの先人がおります。
先人たちのたゆまぬ意志と未来を切り開くチャレンジ精神を広く活用し、にかほ市の未来を担う子供達を育成してまいりたいと思っております。



村上 次郎 議員

市職員の削減計画の見直しを

質問 市町村への権限委譲がかなりありこれまで県で行っていた事業、事務等を市で受け入れて実施している部分が増えてきているようです。その人員配置はどのようなになっているか。異動のあるなしを含めてお尋ねします。臨時職員の数と仕事、配置はどうなっているか、賃金も低くワーキングプアを生み出してはいないかお伺いいたします。

市長 事務事業を総点検しながら財源を捻出し、行政需要に応じて職員の削減はやむを得ないと思います。

総務部長 権限委譲事務については体制整備を図りながら受け入れていく方針です。取り扱っている件数は過去3年の県の実績から見ても年間で数件程度でありまして、人員増を要するまでもなく大半が現状の人員体制で処理が可能と考えております。臨時職員に関しては業務内容を精査した上で、一般事務補助として雇用しており業務の転嫁は行っておりません。

学校図書館に司書助手の常勤者配置を

質問 児童生徒の発達にとって学校図書館の果たす役割は大変重要です。司書助手の配置の意義、重要性をどのように考えているかお尋ねします。

教育次長 読書活動は児童生徒の感性を磨き表現力想像力を高め、人生をより深く生きる力をつける上で教育活動に欠くことのできないものです。子供たちが本好きになり手軽にいろいろな図書資料を活用し、進んで調べ、学習を行えるような能力を高めるためには、読書指導の充実と図書環境の整備を一層図っていくことが重要であると考えております。今年度学校図書館へ司書助手が配置されているのは釜ヶ台小中を除くすべての小中学校であります。フルタイムの勤務状況にはありません。来年度に向けては学校の要望に応えられるよう、臨時雇用事業を活用し配置をふやす予算要望を行っているとところです。

12月定例会一般質問

後期高齢者医療制度廃止について



佐々木弘志 議員

質問 新政権になってどう変わりましたか。

市長 厚生労働省においては後期高齢者医療制度改革会議が設置され4年以内に後期高齢者医療制度を廃止して、高齢者のみの独立した制度にはしない、高齢者のための新たな制度の構築を目指す方針が示されております。

質問 廃止が先送りになった場合、保険料が上がりますか。

市長 国の動向にもよりますが広域連合では保険料の増額は避けられないとのこと。その規模については余剰金や基金の状況も見ながら判断していくこととなります。で現段階ではどのくらいということとは申しあげることができません。

質問 先送りになった場合どんな軽減措置になりますか。

市長 今後においても軽減措置は継続されるものと考えています。手法については現在国から示されておりませんので答弁できない事を御理解願いたい。

質問 新政権によって国保の広域化は推進されますか。

市長 政府に新たに設置された高齢者医療制度改革会議で後期高齢者医療制度にかかわる新制度の設計に向けて、高齢者の定義づけ前期高齢者医療制度のあり方被用者保険との統合など、総合的に広く議論されていくものと認識しております。しかしながら国保制度の安定的な運用を図るためには広域での取り組みが必要不可欠であると考えています。

財政について

質問 平成21年4月全面施行となった地方財政健全化法による実質赤字比率等々の数値についてはすべてクリアし、健全財政を維持していることは既に9月議会で説明されております。そこで具体的数値について答弁を求めます。

総務部長 20年度では実質公債比率は17・1%、県内市の中で5番目に低く将来負担比率は178・3%で10番目に位置します。経常収支比率は90・1%で3番目に低い結果となっております。

会派代表質問

創政会

代表 佐藤 文昭

教育環境について

質問 学力向上の為、専門指導員を配置としているが、小学校・中学校に何名配置するのか。財政面はどうなりますか。

市長 臨時職員として教師経験者1ないし2名を配置し、専門的な授業支援・少人数学習支援等を考えています。小規模学校90人以下の小学校に重点的に配置し、必要な財源は確保したいと思えます。

質問 小・中学校の不登校児童は何名でどの様な状況ですか。不登校解消の為の教室の開設と、教師の確保はどの様な感じられるのですか。

教育長 年間50日以上欠席した児童生徒数は総計19名で、殆ど登校できないが8名です。

市長 学校以外の場所で生活・学習の指導・登校にいたる支援を行いたいと考えます。

質問 雇用拡大を図る上でも工業団地を整備し企業誘致を進めることが重要と思いますが企業誘致に対する考えをお伺い致します。

ます。
市長 市の財源状況などをふまえ、工業用地を確保したい気持ちでおります。

質問 市の地球温暖化対策・環境策全般に対する市長の方針をお伺い致します。

市長 生活を見直し二酸化炭素排出量を少なくする取り組みが必要と考えています。

質問 21年度当初予算時点まちづくり交付金事業から文化施設建設削除を考えたのか。建設先送りについて市民への説明はどの形で行なうのか。基金造成を検討しているようだが、どの程度の積み立て額を考えているのか。

市長 国の財源環境の変化によるもので在り、削除することは考えていませんでした。検討委員会の方々・自治会等又行政懇談会等で良く説明したいと思えます。各年度の財政状況・将来需用を勘案しながら基金造成をしたいと思っております。



創明会

代表 池田 好隆

行政運営について

質問 市長の二期目の行政運営について。市の将来の姿がみえず、夢を語れない感じがあるのではないか。経済的豊かさ感が非常にないのではないか。チャレンジ精神に乏しいのではないか。力強いにかほ市を目指して欲しいと考えます。市長の所見をお伺い致します。

市長 この4年間にはかほ市としてこれから進む土台づくりでありましたので、今後一層、総合発展計画が目指すにかほ市の姿に向け努力を重ねてまいります。

質問 産業振興と雇用の拡大について。中小企業において県内工業の先導的役割を果たせる多様なビジネス創出に大胆に取り組む考えをお伺い致します。

市長 総合発展計画の中に活力ある商工業の振興が挙げられており、主要施策についてはさらに力を入れ取り組みます。

質問 ◎農業は後継者育成が急務で所得に結びつく施策実践に

ついでの方。◎漁業では生産・消費・加工の三点セットで実現できるような供給基盤整備についての考え方。◎観光について農林業・商工業・観光の連携は必須であり経済波及効果の大きい産業でありスピード感を持って推進して頂きたい。◎観光に付き物の商品開発は不足であると思えます。◎地域の均衡ある発展の一助として適地に地産地消センターの開設は考えないのかお伺い致します。

市長 ◎農業が魅力ある為には経営がしっかりすることが基本と思えます。フロンティア事業を活用しながら人材育成し、農業をリードするリーダーを育てたいと思えます。◎つくり育てる漁業を進めながら経営安定につなげたい。加工に回せる魚種はどのくらいあるかも含め、どのような形で取り組むかを考えてみたいと思えます。◎観光アクシオンプランに基づきスピード感を持って取り組みます。◎よりよい商品開発に向け各団体等と連携しながら取り組みます。◎センターは色々課題があり今後相談してまいります。
質問 旧三町を連絡する幹線道路の整備は急ぐべきと考えます

会派代表質問

がいかがですか。
市長 日沿道路整備は事業促進を図っていただくように要望活動を展開します。主要道路は計画通りにできるように頑張ってみたいと思っています。

明政会

代表 佐々木 平 嗣

子育て支援と教育環境の整備と後継者育成について

質問 人口減はにかほ市、または秋田県全体の問題です。平成18年度の出生率では人口千人あたり6・81と全国最下位で、人口増加率も最下位です。商業年間商品販売額も全国を大きく下回るなど経済基盤の脆弱さが引き続きうかがえますが、物価面は総じて他地区より低く、この面では大変暮らしやすい環境にあり、福祉社会保障面でも恵まれております。大切な子供がたくさんいて健やかに成長する環境を整備する事業もやりがいがあると思われま

すが、暗くなり活気がなくなり、高齢者の方々が買い物に困っております。高齢者福祉の強化の中で買い物に困難な世帯に対しての交通費の一部助成に対しても、小売店が元気であれば解決するわけです。ぜひ商業後継者育成に力を入れたまちづくりと、商店に電光板と防犯カメラの設置を義務づけ、産業振興について進めていければと思います。いかがですか。

市長 若者ができるだけ市外に流出しないように、これに一生懸命取り組んでまいります。雇用の拡大につながる産業振興、要するに雇用の受け皿をつくっていききたい。医療費の無料化の拡大、保育料の軽減、そして子供を育てる世代の経済的な負担を軽減していきます。

商工業における後継者問題、やはり何んと言っても経営が安定して初めてだと思えます。商工会で組織した、にぎわいあふれるまちづくり協議会の中で日常生活用品を中心として出前販売とか具体的に動く形になっていけば、市としても助成をしながら経営の安定、あるいは後継者育成につながっていければと考えているところです。

日本共産党

代表 村上 次郎

子育て支援と教育環境の整備について

電光板と防犯カメラの設置についての質問ですが、行政で押し付けることはいたしません。

質問 小学校卒業までの医療費無料化の場合、所得制限なしがそのまま続けられていくのかお尋ねします。

市長 これまで乳児医療、小学校に入るまでは所得制限をなくして進めてきました。これを小学校卒業まで拡大し、さらに中学生の入院時の医療費まで無料化をしたいと思っています。

質問 教育環境の充実についての教育条件整備、現場の声を聞くことについて質問します。

市長 今後とも各学校の意見、要望を聞きながら教育環境の整備あるいは充実に努めてまいりたいと思っています。

質問 雇用の拡大、産業振興について、中小企業の実態把握、これをさらに進めて、網羅していく必要があるのではないかと

市長 人材育成支援、企業融資に係わる限度額の拡大、あるいはISOの関係など共同受注も含めて今事業化されているところです。

質問 住宅リフォーム制度を進めることによって経済効果が非常に大きいという実態について伺います。

市長 小規模修繕、高齢者住宅の整備資金貸付事業など、申請をする際に何とか地元の方を使ってほしいと要請をしています。

質問 高齢者福祉について、国保税の減免の方法、介護保険の利用料への支援、公共施設等のバリアフリーなどについて検討していますか。

市長 税の減免はありません。介護保険についてもいまのところ考えておりません。バリアフリー化の現状ですが、にかほ市の場合は56施設中クリアしているのは22施設です。クリアしていない施設については、主に学校など建築年数が古いものが適合してない状況ですので、これについては大規模改修等の際には整備基準に適合するように改善をしてまいりたいと思っております。

議案質疑

報告第5号

にかほ市観光開発株式会社の経営報告について

質疑 にかほ市開発公社から買
い受けた財産は固定資産324
万8,991円、流動資金1,3
63万7,684円でよいか確
認したい。

答弁 質問の通りです。平成
21年3月31日付けで契約締結し
ています。

質疑 にかほ市観光開発株式会
社の役員人数と議会との関係に
ついて役員会で検討されたか。

答弁 役員人数は8名で、検討
の結果、議会からは取締役は出
さず監査役をお願いしておりま
す。

質疑 「内部間取引」はどんな
内容か。

答弁 社会保険料と退職金共済
機構への掛け金で一括納付分を
戻し入れる仕組みをとってい
ます。

質疑 減価償却が定率法から定
額法に変わった理由は何か。

答弁 税法改正によるもので
す。

質疑 特産品のPR及び販売に
ついて具体的な方策は何か。

答弁 売店内ケースに集約し、
特産品コーナーとしてPRしま

す。

議案第103号

にかほ市奨学資金貸付基金条例
の一部を改正する条例制定につ
いて

質疑 年度途中に申し込みがあ
った場合の対応は。

答弁 基金の残高を見ながら年
度途中でも対応します。

質疑 21年度の貸与人数と金額
は。

答弁 21年度の貸与金額は4、
745万円です。

質疑 貸与金額の返還人数と返
還状況はどうですか。

答弁 現在返還中の人数は14
8人で金額は1,437万1,0
00円で長期滞納者は12名いま
す。

質疑 途中の場合選考委員は新
たに選考するのですか。

答弁 新たに選考し終わったら
解職します。

質疑 奨学金の額の根拠を伺い
ます。

答弁 公立高校、私立高校の入
学金を調査しその結果に基づい
て決めました。

質疑 条文から保護者を削除し
た理由は何ですか。

答弁 あくまでも貸与者は本人
であるからです。

質疑 第2条の90日以内の根拠
は。

答弁 諸手続きなどに時間がか
かるためです。

議案第105号

にかほ市工業振興条例制定につ
いて

質疑 誘致された工場の数、操
業状況と正規雇用者の人数は。

答弁 仁賀保地区130件、金
浦地区11件、象潟地区28件合計
169件で、57社が適用を受け、
現在まで廃業13件、撤退1、合
併2で41事業所の正規社員数は
4,660名です。

議案第106号

にかほ市観光施設設置奨励に関
する条例制定について

質疑 にかほ市の観光地として
の素材を磨き上げる環境整備に
ついて検討したか。

答弁 特に検討していません。

質疑 第2条(1)に娯楽とあ
るが具体的内容を検討しました
か、例えばカジノは娯楽に入り
ますか。

答弁 総務省の日本標準産業分
類があり、公営ギャンブル、遊
戯場の類いは除外されます。

議案第107号

にかほ市ガス供給条例の一部を
改正する条例制定について

質疑 感染症の流行等で供給制
限や中止、使用の制限や中止は
どのような状態の時に適用され
るか。

答弁 産油国の感染症蔓延によ
り日本への輸出が困難になった
時、輸入供給業者が感染し予想
が困難な時、ガス係職員が感染
し業務が出来ない時、その他。

議案第112号

平成21年度にかほ市一般会計補
正予算(第7号)について

質疑 すこやか子育て支援事業
補助金で若葉保育園がおこなう
とあるが、具体的内容につい
て。

答弁 認定子供園は保育園と幼
稚園の機会を併せ持つもので他
の保育園と変わったところはあ
りません。

質疑 福祉医療システムの改修
は職員で出来ないか、またその
為の研修を県に要望出来ない
か。

答弁 専門的技術であり職員に
よる改修は不可能です。また研
修の要望予定はありません。

質疑 最終処分場の不良土処理
で不良土の用途、廃油の分析内
容、他の科学物質の汚染はない
か、又処理した土を元に返すの
か、別の土を持つてくるのか。

答弁 売店内ケースに集約し、
特産品コーナーとしてPRしま

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

議 案 質 疑

答弁 土壌の環境基準に定められている全ての項目について基準以下です。処理した土は、持つてこず、別の土を入れます。3ヶ所の水質検査結果は全て問題ないので審議会はやっていません。

質疑 農漁村活性化プロジェクト事業は実施計画に無いが事業内容を伺います。

答弁 当初22年度の計画であったが、公共投資臨時交付金が交付されることになり、本年度に実施すると財源的に有利な為、計画変更した。

質疑 地域水産物供給基盤整備事業で増額補正の理由と全事業費に変更はないか。

答弁 経済危機対策における公共投資臨時交付金が交付される為の補正であり、全体の費用には変更ありません。

質疑 学校関係者評価委員報酬費について内容と委員評価方法、その結果の公表について。

答弁 評価委員により5人以内の委員と校長の推薦に基づき、教育委員会が委嘱しています。結果については公表することにしています。

質疑 海洋センターの管理費について、燃料費と光熱費は「ガ

ス発電装置」の効果が発揮された上での増額か。

答弁 まだ運転して間もないので、効果は検証中です。増額の理由は、担当省の委託先の変更から、本格稼働が遅れたため当初で見込んだ効果が得られなかったためです。

質疑 マイタウン車両（コミュニケーションバス）購入金、初年度開設補助金の概要と補助率又他の利用はあるか。

答弁 補助金875万円は10人乗りワゴン車1台と29人乗り小型バス3台分の県補助金です。開設補助金は、バス停標識、時刻表、回数券、です。車両購入金額は2,150万5,000円です。他の利用はありません。

議案第114号
平成21年度にかほ市国民健康保険事業会計施設勘定補正予算（第3号）について

質疑 入院外収入の減額の主な理由は何か。

答弁 院内処方が院外処方箋方式へ切り替わったことと、外来件数の減少によるものです。

コミュニティバス予定停留所（案）

仁賀保・釜ヶ台線	仁賀保駅前	ビフレ前	杉山	仁賀保中学校前	院内小学校前	田抓	石田	十文	三日	中野	小出小学校前	伊勢居地	畑野	畑野	下横	横森	桂坂	上坂	冬師	下坂	釜ヶ台
大竹線	仁賀保駅前	ビフレ前	スマイル前	田角	杉山	仁賀保中学校前	田抓	石田	十文	立居	百目	樋ノ	大竹	大竹	金浦温泉前	前川	消防署前	金浦庁舎前	マックスバリュ前	金浦駅前	
鳥海線・長岡線（長岡経由）	象潟駅前	後田	マックスバリュ前	象潟庁舎前	長岡倉庫前	長岡	石坂	大飯郷	大森	上村	下水岡	湯の	上郷小学校前	舟岡							
鳥海線・長岡線（小滝経由）	象潟駅前	後田	マックスバリュ前	体育館前	汐見町	御嶽公園前	団地前	梨ノ木	旭塚	羽後小滝	白滝旅館前	上郷農協前	奈曾滝	西本郷	象潟病院前	栗山橋	本郷	下村	横岡	舟岡	

※未就学児は無料。中学生以下、障害者については半額。

※通学に利用する小中学生は無料。ただし、その路線の区間以外を乗車する場合は一律100円。

議 会 活 動

年 月 日	行 事	場 所 等
H21.11.11	高速道路整備促進秋田中央大会	シャインプラザ平安閣秋田
11.12	静岡県吉田町議会来訪	フェライト子ども科学館
"	議会運営委員会	象 潟 庁 舎
11.17	各期成同盟会要望活動	由利本荘市・秋田市
11.18	議員全員協議会	象 潟 庁 舎
"	会派代表者会議	象 潟 庁 舎
11.20	議会運営委員会	象 潟 庁 舎
"	秋田県市議会議長会議員研修会	秋 田 市
11.24~25	各期成同盟会要望活動	仙 台 市 ・ 東 京
11.26	東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望	東 京 市
11.27	臨時会	象 潟 庁 舎
12. 3	議会運営委員会	象 潟 庁 舎
12.10~25	定例会	象 潟 庁 舎
H22. 1. 8	議会広報編集委員会	象 潟 庁 舎
1.20	議会広報編集委員会	象 潟 庁 舎
1.22	議会広報編集委員会	象 潟 庁 舎

陳 情

陳 情 の 件 名	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	結 果
雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情	秋田市中通7丁目2-21 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章(他1名)	産業建設	採 択
社会保障と教育予算の拡充を求める陳情	"	産業建設	採 択
くらしを支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情	"	総 務	採 択
米価の回復と価格の安定、ミニウム・アクセス米の輸入中止を求める陳情	秋田市中通6-7-36 農民運動秋田県連合会 代表者 佐藤長右衛門	産業建設	採 択
EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する陳情	"	産業建設	採 択
2010年度の年金確保に関する陳情	由利本荘市小人町63-2 全日本年金者組合秋田県本部 本荘由利支部 支部長 菊地徳右衛門	教育民生	採 択
後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情	"	教育民生	不採択
最低保障年金制度創設などを求める陳情	"	教育民生	採 択
改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情	秋田市山王6丁目3-4 秋田県司法書士会 会長 鈴木 敏 夫(他2名)	総 務	採 択

決 議 ・ 意 見 書

- 次の件について決議し意見書については関係機関に提出しました。
- ・ 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書
 - ・ 雇用と生活をまもる施策強化を求める意見書
 - ・ 社会保障と教育予算の拡充を求める意見書
 - ・ くらしを支える行政サービス・人員の拡充を求める意見書
 - ・ 米価の回復と価格の安定、ミニウム・アクセス米の輸入中止を求める意見書
 - ・ EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書
 - ・ 2010年度の年金確保に関する意見書
 - ・ 最低保障年金制度創設などを求める意見書
 - ・ 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

委員会報告

総務常任委員会

条例改正と補正予算、陳情2件の審査を行いました。

市職員の勤務時間等に関する条例改正は、国県に準じて1日の勤務時間を現行の8時間から7時間45分にするもので、昼休みで調整し始業終業時間に変更はありません。

補正予算に平成22年4月から廃止が決定している仁賀保線、大竹線、鳥海線、長岡線の羽後交通バス路線の代替の為に車輛購入補助等があります。当委員会で、これまでも代替運行の綿密な計画策定を当局に要請してきましたが、この4路線のコミュニティバス運行概要案が示されました。仁賀保線は仁賀保駅から小出地区経由、時間帯によって院内小学校を通り釜ヶ台まで。大竹線は金浦駅から前川、大竹、小出経由で仁賀保駅まで。鳥海長岡線は象潟駅から小滝、本郷、横岡、大森、長岡を周回する形で象潟駅までとなっており、運行に関わる時刻表や料金等々の説明を受けました。公共交通の空白域が多少解消され、乗車料金が5百円上限

で安く設定されており、通学利用は無料となっております。委員からはこれらの路線維持の経費が現状より削減になるのか、クラブ活動等の通学の利便性は大丈夫かなどの質問がありました。また、これまでの経費より安くなるよう検討を加え委託業者を選定していく。通学の件は十分話し合われており、1年間の試験運行を通して更に見直しをしていくとのことでした。

他に、全市を光ファイバーで結ぶ整備、地震防災マップを作成し地域毎の揺れやすさを色分けで示す。全国瞬時警報システムの導入により、災害や非常事態を国から自治体に瞬時に通報する等々を審査いたしました。

陳情第10号「くらし支える行政サービス・人員の拡充を求める」については、行財政改革で何もかも切り捨てということではなく、市民の視点や地方の現状を鑑み採択とし、陳情第16号「改正賃金業法の早期完全施行等を求める」では、多重債務や自殺問題が深刻化する社会情勢の中で、法の強化の面からも採択に決しております。

総務常任委員長

菊地 衛

産業建設常任委員会

●「にかほ市工業振興条例」が制定されました。今まであった「にかほ市工場誘致条例」を全面的に改訂し、固定資産税の減免条件を広げました。また、新たに雇用奨励金制度を設けていきます。

委員「誘致という文言がなくなっているのはなぜか」

当局「誘致をしないということではない。製造業に加え卸売業、運送業など業種を増やし、地元企業が申請しやすくしている」

●「にかほ市観光施設設置奨励に関する条例」が制定されました。これまでの「にかほ市観光施設誘致条例」を全面的に改訂したものです。これもやはり固定資産税の減免措置を拡大して、企業活動をしやすくしようという内容になっています。

●平成21年にかほ市一般会計補正予算から
・農山漁村活性化プロジェクト事業補助金6千4百万円。

これは県の施設建設に対する市の負担金で、種子温湯処理施設はJA秋田しんせい本所近く

に、ペレット堆肥施設は大内町のぞき地区にそれぞれ建設するものです。

・集落営農「発展モデル組織」育成事業補助金49万9千円。

にかほ市で初の農業法人、
「(株)ほっと奈曾」に補助するものです。この会社は農地の受委託による耕作や、農産品の販売など幅広い営業活動を目指します。

・温泉保養センターはまなす施設整備基金積立金180万円。

これで積立金の合計は1億9千9百80万円になります。

・象潟観光振興施設整備基金積立金(ねむの丘)1千2百万円。

これで積立金の合計は6千7百78万円になります。

産業建設常任委員長

佐々木正己



▲ 榑ほっと奈曾

委員会報告

教育民生常任委員会

今定例会において当委員会に付託になりました案件は条例改正2件、補正予算4件、陳情4件あり審査しました。

条例改正については社会保険の延滞金を軽減するための法律が改正された事に伴う件と新たに奨学金として入学一時金を貸与するための改正であります。いずれも全員の賛成で可決しています。

次に補正予算については福祉医療システム改修委託料について、平成22年度から小学校卒業時まで拡大する医療費の無料化を実施するためのシステム改修費が計上されています。

これは、現在、市が使用しているシステムは住民情報、税情報などと連携しながら一体的に構築されたパケットソフトとなつ



▲ LED防犯灯

ている為、専門の教育を受けた技術者でなければ改修できない為の委託との説明でありました。

次に生活保護システム基準改定作業委託料については、ひとり親就労促進制度が廃止され、母子加算制度が復活する事に伴いシステム改修費として計上されています。

防犯街灯の今後の方針について、環境に優しいと言われていたLED防犯灯については、器具自体の寿命は従来の防犯灯と同じですが、故障の時、従来型は電球の交換のみ、一方、LEDは器具交換という事で器具自体が高価な為、開発が進んで安価になった時点で検討したいとの説明がありました。

陳情については、社会保障と教育予算の拡充、年金確保に関する陳情、最低保障年金制度創設などを求める陳情は採択となりました。

後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情については、新政权において廃止される事になっており不採択となりました。

教育民生常任委員長

加藤 照美

編

集

後

記

広報委員となり最初に発言したことは、題字の提案です。

「市議会だより」日本の書道を取り入れてはどうかということですが、全員の賛成で決定され実行されています。私の父は大変書道の好きな方で、私達子供も影響されたことはいうまでもありません。家族の中で誰かが何か行っている事に興味を持つ、または憧れる、とても良いことではなからうか。昔から親から子へと家族の文化が繋がりに伝統が生まれ、現在がある。先輩議員が伝えてきた議会を「市議会だより」で是非市民の皆様にご覧のようにと、委員が一丸とな



▲ 除雪

って取り組んで編集を行っています。

議会広報編集委員会
委員 佐々木平嗣

「議会会議録」をホームページと各庁舎で公開しています。

市議会の会議録を市のホームページと象潟庁舎市民ホール、金浦庁舎玄関ロビー、仁賀保庁舎市民サービスセンターで公開しています。お気軽にご覧下さい。